

規準類整備以降の建物、構築物のコンクリートの健全性確認状況

サイト	分類	建物、構築物名	建物、構築物の機能	工期	東洋機工の骨材の使用の有無 ¹	アルカリ総量による判定(最大値) ²	定期点検		臨時点検	
							目視	強度試験 ³	目視	強度試験 ³
福島第一	建物	雑固体廃棄物減容処理建屋	固体廃棄物(保温材・コンクリートガラ等)を減容処理する設備を収納する建物	S62.7～H1.11		2.7 < 3.0kg/m ³	H13年度	H16年度に実施予定	H16.9.7	-
		固体廃棄物貯蔵管理棟	低レベル放射性廃棄物搬出に伴う廃棄体検査設備及び検査機器メンテナンス室を収納する建物	H3.10～H4.8		2.5 < 3.0kg/m ³	H13年度	H16年度に実施予定	H16.9.6	-
		運用補助共用施設	使用済燃料および使用済燃料の輸送に用いる容器を収納する建物	H6.12～H9.10		2.5 < 3.0kg/m ³	H16年度予定	H16年度に実施予定	H16.9.7	-
		固体廃棄物貯蔵庫搬出通路	固体廃棄物を貯蔵する建物へ固体廃棄物を搬出するための通路	H11.11～H12.1		2.5 < 3.0kg/m ³	H13年度	H16年度に実施予定	H16.9.6	-
	構築物	1号機補機冷却系配管トンネル	補機冷却系海水配管を収納するトンネル	H1.7～H3.9	-	1.9 < 3.0kg/m ³	H16年度	-	H16.8.25	H16.8.25 反発度法による
		2号機補機冷却系配管トンネル		H2.7～H5.4		2.0 < 3.0kg/m ³	H16年度	-	H16.8.25	H16.8.25 反発度法による
		3号機補機冷却系配管トンネル		H4.5～H7.9		2.0 < 3.0kg/m ³	H16年度	-	H16.8.25	H16.8.25 反発度法による
		2号機気体廃棄物処理系配管ダクト	気体廃棄物処理系配管を収納するトレンチ(大きい側溝に蓋を掛けたようなもの)	H2.1～H2.5		1.7 < 3.0kg/m ³	H16年度	-	H16.8.25	H16.8.25 反発度法による
		3号機気体廃棄物処理系配管ダクト		H1.4～H2.5	-	1.9 < 3.0kg/m ³	H16年度	-	H16.8.25	H16.8.25 反発度法による
		4号機気体廃棄物処理系配管ダクト		H4.3～H4.7	-	2.0 < 3.0kg/m ³	H16年度	-	H16.8.25	H16.8.25 反発度法による
		6号機気体廃棄物処理系配管ダクト		H2.11～H3.5	-	1.9 < 3.0kg/m ³	H16年度	-	H16.8.25	H16.8.25 反発度法による
		2号機No.4軽油タンク基礎	非常用ディーゼル発電機用の軽油貯蔵タンクを支持するコンクリート基礎	H6.11～H8.11	-	1.9 < 3.0kg/m ³	H16年度	-	H16.8.25	H16.8.25 反発度法による
		4号機No.5軽油タンク基礎		H6.11～H8.11	-	1.9 < 3.0kg/m ³	H16年度	-	H16.8.25	H16.8.25 反発度法による
6号機No.6軽油タンク基礎	H7.2～H8.11			2.0 < 3.0kg/m ³	H16年度	-	H16.8.25	H16.8.25 反発度法による		
福島第二	建物	サイトバンカ建屋	高放射性廃棄物を貯蔵する建物	S62.1～S63.4		(記録がなく算出不可能)	H15年度	H10年度 コア抜き取りによる	H16.9.6	-
		キャスク保管建屋	使用済燃料を輸送する容器を保管する建屋	S62.10～S63.8		(記録がなく算出不可能)	H15年度	H10年度 コア抜き取りによる	H16.9.6	-

1:試験成績書の原本照合の結果、は「改ざんがあったもの」、は「改ざんの可能性が否定できないもの」、-は東洋機工以外の骨材を使用しているものを示す。

2:アルカリ総量はJIS A 5308-2003附属書2のアルカリ総量算定式により当社で算出。

3:強度試験は上段に実施時期を下段に強度試験方法を記載。